

事務事業マネジメントシート（20年度実績と21年度計画）

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名	熊本県農業会議参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政 策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部 所属課 所属班	課長名 担当者名 (内線)	
	施 策	6	計画的な土地利用の推進			農地班	福島正幹 坂本強 1182	
	基本事業	18	農業振興地域の形成			法令根拠	農業委員会等に関する法律	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果	
		1	6	1	1	10177	11 6	
事業期間						年度	期間限定複数年度 (~ 年度)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)								
<p>【事業の内容】 農業会議との連絡調整及び会議、研修会等に積極的に参加し、農業委員会職員及び農業委員としての知識向上を図る。</p> <p>【業務の流れ】 各農業委員への通知、研修会の同行・参加</p> <p>【主な予算費目】 金補助及び交付金、旅費</p>								
負担								

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

20年度実績(20年度に行った主な活動) (DO)

熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加した。

21年度計画(21年度に計画している主な活動) (PLAN)

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標) = ①の指標 (単位)

→ ア 研修に参加した人数

人

イ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

・農業委員会職員

・農業委員

⑥対象指標(対象の大きさを表す指標) = ②の指標 (単位)

人

ア 農業委員会職員数

人

イ 農業委員数

人

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

・農業委員の現状及び最新情報を入手できる。

・農業委員会に関する知識を身につける

⑦成果指標(意図の達成度を表す指標) = ③の指標 (単位)

人

ア 新たな知識を身につけた委員の割合

%

イ 新たな知識を身につけた職員の割合

%

④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)

農業の振興を図る地域となっている。

⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標) = ④の指標 (単位)

人

ア 遊休農地面積／農業振興地域面積

%

イ

(2) 総事業費・指標等の推移

			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
事業費 投入量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								(期間限定複数年度のみ記載)
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	342	254	286	226	272			
	(A) 事業費計		千円	342	254	286	226	272	0	0	
	うち指定経費 うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	4	4			
		延べ業務時間	時間	80	80	80	24	24			
(B) 人件費計			千円	318	318	318	96	96	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	660	572	604	322	368	0	0	
活動指標			ア イ	人	34	32	32	32			目 標 合 数 計 値 画 22 年 度
対象指標			ア イ	人	4	4	4	4			
成果指標			ア イ	%	100	100	100	100			
上位成果指標			ア イ	%	100	100	100	100			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か? いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

事務事業名	熊本県農業会議参画事業	所属部		所属課	農業委員会
-------	-------------	-----	--	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかないか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 →他市町村の農業委員会の状況や最新情報を入手することで知識を身につけることにより土地の有効利用が図れる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 →農業委員及び職員が研修等受けることにより知識の向上を図るために必要である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 →対象、意図とも現状で適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 →毎年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 →21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 →委員・職員の知識向上が図れなくなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 →類似事業は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 →拠出金については均等割りと残額を農家個数・農地面積で算出しており削減は困難である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっていないか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 →3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 毎年新たな知識・情報を身につけるためには毎年参加する必要がある。
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td><td>コスト</td><td></td></tr> <tr> <td>削減</td><td>○</td><td>△</td></tr> <tr> <td>維持</td><td>○</td><td>△</td></tr> <tr> <td>増加</td><td>△</td><td>○</td></tr> </table>		コスト		削減	○	△	維持	○	△	増加	△	○
	コスト												
削減	○	△											
維持	○	△											
増加	△	○											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。													

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1)目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2)貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)

合志市